

世帯と人口

3 月 1 日現在・()内対前月比

世 帯	46,245	(+ 35)
人 口	122,175人	(+107)
男	62,185人	(+ 38)
女	59,990人	(+ 69)

広報えびな

編集・発行

市役所 市長室広報担当

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の 1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

互いに顔見知りが増えたパトロールではこうした情報交換風景も



上今泉五丁目



住民がともす“心の防犯灯”

かしわ台駅に近いなど交通の至便な上今泉五丁目は、分譲住宅が建ち並ぶ閑静なベッドタウン。日中留守になる家が多いせいか、これまで空き巣に狙われる事件が度々発生していました。しかし、去年の秋に受けた被害を機に住民たちが結束し、警察の助言と自治会の支援を得て、12月下旬から地域内の防犯パトロールを行っています。今回は、その現場にお邪魔しました。

自主パトロールで絆深める

「最近お宅やご近所周辺で、変わったことはありませんか?」「怪しい業者が訪ねて来て、なかなか帰らないような話を聞きますね。緑色のたすきや防犯ベストを着用したパトロール員が、玄関先で家人と話し合いを…」パトロール員は、数班に分かれて徒歩で巡回し、このように住民とあいさつや言葉を交わしながら、町内に不審な様子がないかをチェックしています。

開始当初のパトロール員は、自宅の周辺しか分からず知人は子どもの友達の親ぐらい、という住民がほとんど。「知らない道を、初対面の人に声をかけながら歩くため、緊張の連続でした」と振り返ります。「徐々に顔見知りが増え、お互いのあいさつが『おはようございます』から『おはよう』に変わるにつれて、『一緒に回りたい』という方も出始め、パトロール成果に手応えを感じました」。渡邊良治自治会長(65歳)も、『目立って恥ずかしい』とたすきを嫌がっていた人も、今では『たすきをした方が声をかけやすい』と話しています。と頼もしい。「みんな歩きづいめで丈夫になった(笑)。初めは『五丁目ってこんなに広いのか』と思ったけど、今は『疲れた』と言いつつ人はいないね」と、健康面でも効果は上々。

パトロール開始以降数は減りましたが、空き巣の被害は時折すきをうかがうように起きています。その都度わが事のようにくやしがるパトロール員の姿は、「この街で不法なまねはさせないぞ」という決意にあふれています。「パトロールへの参加は人的な負担も大きい。地域全員が自主的に参加できる体制を、時間をかけて作りたい」と、みなさん一様に表情を引き締めます。

ところで、パトロール員はいつもポリ袋を携行し、ごみ拾いをしながら巡回しています。「小さな紙くずも放置しないことで、『一致団結の街』という印象をすべての不審者に見せつけるためです」。

「パトロールを通じて五丁目の全員が友達同士になれば、きっと安全で安心な街になる」。住民の心にとまった灯りに照らされた道を、今日もパトロール員は歩き続けています。